

機能変更のお知らせ

dp2 Quattro (ファームウェアバージョン 1.03)

本製品は、ファームウェアのアップデート（ファームウェアバージョン 1.03）により、以下の機能が追加・変更となります。

ご注意!!

- ファームウェアのアップデートにより、セットアップメニュー（P.27）の項目の並びが変更になりますのでご注意ください。

Mモード時のLCDモニタ表示について (ファームウェアバージョン 1.02 以降)

露出モードがMのときは、写真の仕上がりをイメージしやすくするために、実際の露出が画面に反映され、露出アンダーのときは暗く、露出オーバーの時は明るくなります。例えば、他社製のフラッシュを使用してMモードで撮影する場合、画面が暗い状態ではピントや構図の確認が困難になります。そのような場合は、実際の露出を反映せず、画面の明るさを調整するモードに切り替えることができます。

「**撮影設定**」(P.27) → 「**Mモード時モニタ露出反映**」より設定します。

切	見やすい明るさに自動調整されます。
入 (初期設定)	実際の露出が反映されます。

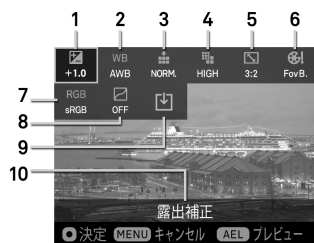
メモ

- エレクトロニックフラッシュ EF-140S SA-STTL を使用する場合は、「入」に設定していても、見やすい明るさに自動調整されます。

カメラでRAWデータを現像する (ファームウェアバージョン 1.03 以降)

パソコンを使わずに、RAW形式で記録された画像から、JPEG形式の画像を作成することができます。

RAW現像設定画面



1	露出補正 (P.75)
2	ホワイトバランス (P.61)
3	画質 (P.69)
4	画像サイズ (P.70)
5	アスペクト比 (P.70)
6	カラーモード (P.78)
7	カラースペース (P.82)
8	トーンコントロール (P.81)
9	現像実行アイコン
10	選択されている項目

RAW画像の表示中に **MENU** ボタンを押して「**再生設定**」(P.27)を開き「**RAW現像**」を選びます。

2

サブメニューで、以下のいずれかの方法でRAW現像したい画像を選びます。

ファイル選択	<> ボタン (9 画像表示時は <>> ボタン) で現像したい画像を表示させ、 OK ボタンを押して確定します。 ●「 ファイル選択 」は、手順 1 で画像を表示していなくても実行できます。
現在のファイル	手順 1 で表示した画像が選ばれます。 ●手順 1 でJPEG画像を表示した時は「 現在のファイル 」を選ばません。

●画像の選択後、RAW現像設定画面が表示されるまで、「**処理中...**」とメッセージが表示されます。

3

RAW現像設定画面で、**<>>** ボタンで変更したい項目を選び、**OK** ボタンを押して確定します。

- ホワイトバランス** (P.61) と**カラーモード** (P.78) は、各オプションに対して詳細な設定が可能です。**I/O** ボタンを押して詳細設定画面を表示させてください。詳しくは各項目のページを参照してください。

4

画像を確認しながら、前後ダイヤル、もしくは**<>** ボタンを押して調整値 (もしくはオプション) を変更し、**OK** ボタンを押して確定します。

5

変更したい項目が複数ある場合は、手順**3**~**4**を繰り返します。

6

一通り設定が完了したら、**再生** (現像実行アイコン) を選び **OK** ボタンを押します。

7

<> ボタンで「はい」を選び、**OK** ボタンを押して確定します。中止したい場合は、**<>** ボタンで「いいえ」を選び **OK** ボタンを押します。



- 再生時、RAWデータから作成されたJPEG画像には**再生**マークが表示されます。
- 作成されたJPEG画像のファイル番号は、カードに入っている最後のファイルの次の番号が割り当てられます。

ご注意!!

- カードに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、RAW現像を実行できません。
- より細かな調整が必要な場合はSIGMA Photo Proでの現像をおすすめします。